

「福島第一原子力発電所」の見学会を開催いたしました！！

- ★ 日 時 平成30年8月29日（水） 11：15～15：30
（発電所見学時間 13：35～14：25）
- ★ 場 所 東京電力ホールディングス㈱ 福島第一原子力発電所
- ★ 参加人数 37名



今回は、現在、廃炉への取組みを着実に進めている福島第一原子力発電所の見学会を開催いたしました。

見学会に先立ち、入退域管理棟に隣接する新事務本館の会議室で、ご案内担当の福島第一廃炉推進カンパニー 廃炉コミュニケーションセンターの渡邊課長から発電所の現状について、ご説明いただきました。現在、1～3号機は、「冷温停止状態」を継続中で、使用済み燃料プールからの燃料取り出しに向けた準備を進められています。（画像①～③） 4号機については、既に建屋内の使用済み燃料プールからの燃料取り出し作業が完了されているとのことでした。

また、汚染水対策や労働環境改善へ向けての取組み等についても、分かりやすくご説明いただき、その後、作業員の方々も利用されている、1200名が利用可能な大型休憩所内の食堂で昼食をいただきました。近隣の福島給食センターから供給される食事のメニューは5種類あり、作業員の方々が昼夜、温かい食事をとることができるまでに改善されたことを、私たち参加者も実感

することができました。

昼食後、各参加者は個人線量計を装着し、構内専用バスで発電所構内をご案内いただきました。車中より、1～4号機の原子炉建屋の外観、事故当時定検中だった5・6号機の外観、汚染水対策として導入・設置した多核種除去設備（ALPS）や地下水バイパス設備、サブドレン設備、凍土遮水壁設備や、処理水貯蔵タンク等を見学いたしました。車中から見た発電所構内は、がれき撤去やフェーシング工事（モルタル等での敷地塗装）により除染がかなり進み、現在では構内の放射線量は低減し、作業員の方々が一般作業服で作業可能なエリアが敷地面積の96%にまで拡大しています。実際、私たち参加者も約1時間の見学終了後に、



<処理水貯蔵タンク群>



自動運転 EVバス(構内移動用)



<移動式線量計>

各個人線量計の数値を確認いたしました。0.01mSvの低い値であることが確認できました。

今回の見学会では、マスコミ報道ではあまり取り上げられる機会のない発電所の現状や復旧の進捗状況を、自身の目で確認することができました。また、現場の皆さまが廃炉へ向けた様々な対策に前向きに取り組まれ、着実にプロジェクトが進められていることも確認することができました。

最後に、お忙しい中ご案内いただきました、東京電力ホールディングス㈱福島第一廃炉推進カンパニー、および関係会社の皆さまに、心より感謝申し上げます。

※画像提供：東京電力ホールディングス㈱

参加者の感想 ～参加者アンケートより～

- * 廃炉作業完遂に向けて多面的な取組みが多く関係者によって着実に進められていることを実感した。課題解決に向けた地道かつ真摯な取組み姿勢は、自身も見習わなければならないと、自分が仕事を進めていく上でのモチベーションになった。
- * 廃止措置の現状だけでなく、周辺地域の現状なども踏まえて説明いただき、関連情報を広く知ることができた。実際に見て、説明を受けなければ分からないことばかりだったので、このように地道な説明は重要な取組みだと思った。
- * 報道やホームページから、近況を理解しているつもりでいたが、自らの目で確認したことを職員に伝えたいと考えている。今後も見学会を継続して欲しい。

～その他、多くのご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございました～

今回は、定員の3倍を超える多くの皆さまにお申しいただき、誠にありがとうございました。
今後も、見学会をはじめ、講演会・講習会の開催を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。